

復興支援道路 宮古盛岡横断道路
一般国道106号 都南川目道路てしろもり
手代森トンネル(仮称)貫通式のお知らせ

宮古盛岡横断道路「都南川目道路」(延長約6km)は、平成28年3月に一部供用(延長2.6km)しておりますが、残りの3.4km区間について平成31年度内の開通を目指し、地域の方々とともに事業を進めております。

このたび、都南川目道路で最長となる「手代森トンネル(仮称)」(L=2,625m)の貫通にあたり、式典を執り行うこととしましたのでお知らせ致します。貫通式では、盛岡市長をはじめ、地元の方にご参加していただきます。

1. 日 時 : 平成29年7月14日(金) 10:00~11:30
※受付は9:30から
2. 場 所 : 盛岡市川目~盛岡市手代森 地内【別紙-1参照】
手代森トンネル(仮称) 盛岡側坑口
3. 主 催 : 清水建設株式会社東北支店
4. 内 容 : 神事及び貫通式典【別紙-2参照】

注) 現地には駐車場がございます。現地の誘導員に従い駐車願います。

(参考) 宮古盛岡横断道路 手代森トンネル工事 概要【別紙-3】
(参考) 宮古盛岡横断道路の主な整備効果【別紙-4】

【発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会】

問 い 合 わ せ 先

【式典や施工内容に関するお問い合わせ】

清水建設株式会社

手代森トンネル作業所

電話：019-601-5647

作業所長 なかしま 中島 まさる 賢

【事業に関するお問い合わせ】

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所

電話：019-624-3131 (代表)

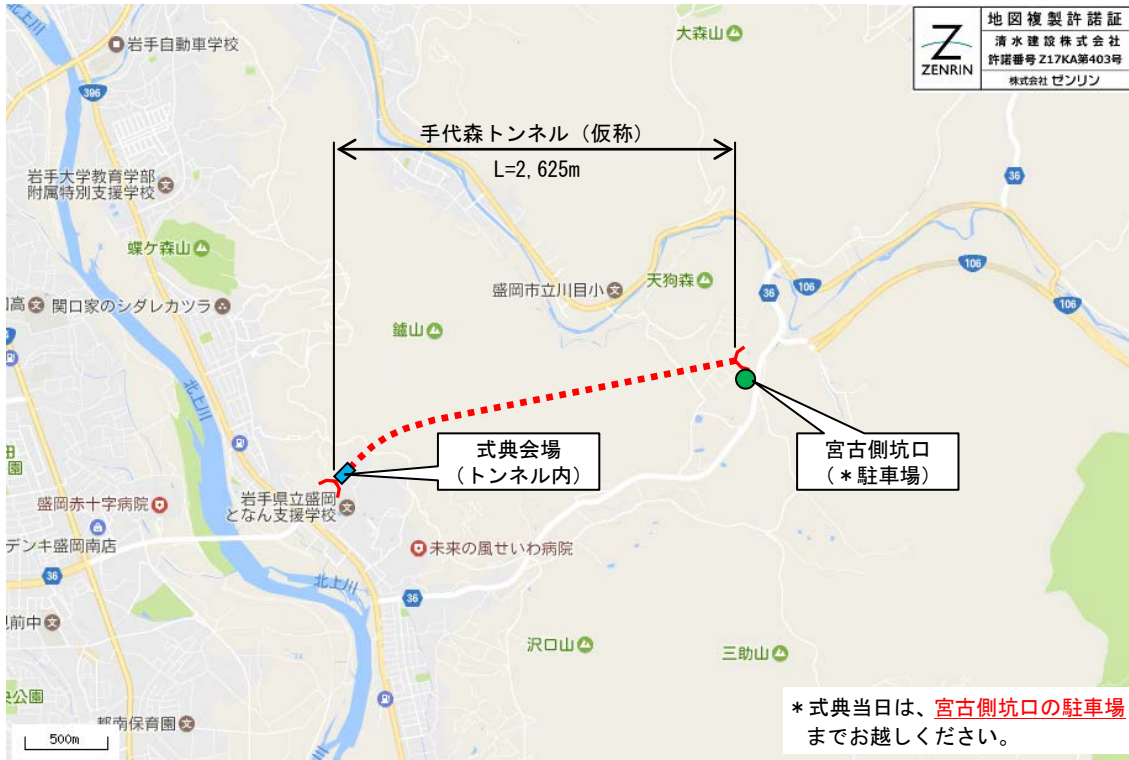
副 所 長 としない 十枝内 よしのり 美範 (内線205)

工務第二課長 ささき 佐々木 みのる 稔 (内線411)

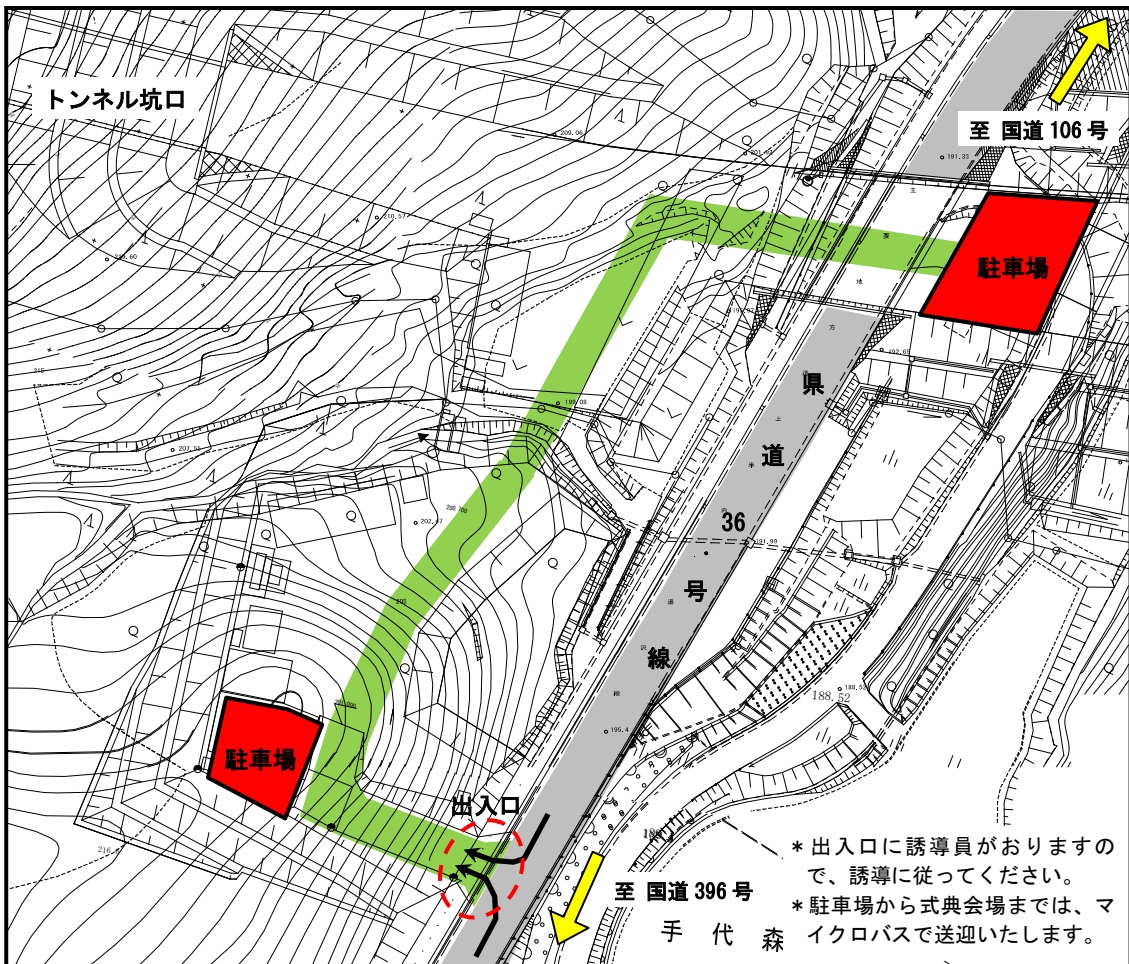
宮古盛岡横断道路 手代森トンネル（仮称）

貫通式典会場案内図

位置図



駐車場のご案内



宮古盛岡横断道路 手代森トンネル工事 貫通式 次第（予定）

平成29年7月14日（金曜日）

岩手県盛岡市川目～盛岡市手代森 地内 （盛岡側坑口）

○神事 午前 10時00分～午前10時35分

- 一、開式の辞
- 一、修 祓
- 一、降神の儀
- 一、献 饌
- 一、祝詞奏上
- 一、切麻散米
- 一、玉串奉奠
- 一、撤 饌
- 一、昇神の儀
- 一、閉式の辞

○貫通式典 午前 10時45分～午前11時30分

- 1 開式
- 2 貫通報告
- 3 久寿玉開披
- 4 通り初めの儀
- 5 来賓祝辞
- 6 発注者挨拶
- 7 鏡開き
- 8 乾杯
- 9 施工者謝辞
- 10 閉式



宮古盛岡横断道路 手代森トンネル工事

復興支援道路

別紙-3

○工事概要

工事名	宮古盛岡横断道路 手代森トンネル工事					
発注者	国土交通省 東北地方整備局					
工事場所	岩手県盛岡市川目～盛岡市手代森 地内					
工期	平成26年 3月20日～平成30年 3月19日 (48ヶ月)					
工事金額	¥10,077,426,000 (消費税込) 第7回設計変更迄					
施工者	清水建設株式会社 東北支店 手代森トンネル作業所					
	現場代理人: 中島 賢			監理技術者: 平野 宏幸		
工事内容	住所	岩手県盛岡市手代森12地割3-1 tel:019-601-5647				
	工種	設計数量	単位	施工数量	進捗率	残数量
	掘削・支保工	2,609.2	m	2,609.20	100.0%	0.00
	覆工コンクリート・防水工	2,609.2	m	2,056.35	78.8%	552.85
	インバート工	177.0	m	177.00	100.0%	0.00
道路土工(盛岡側)	351,694.0	m ³	351,500.0	99.9%	194.0	
			全体進捗	99.0%		

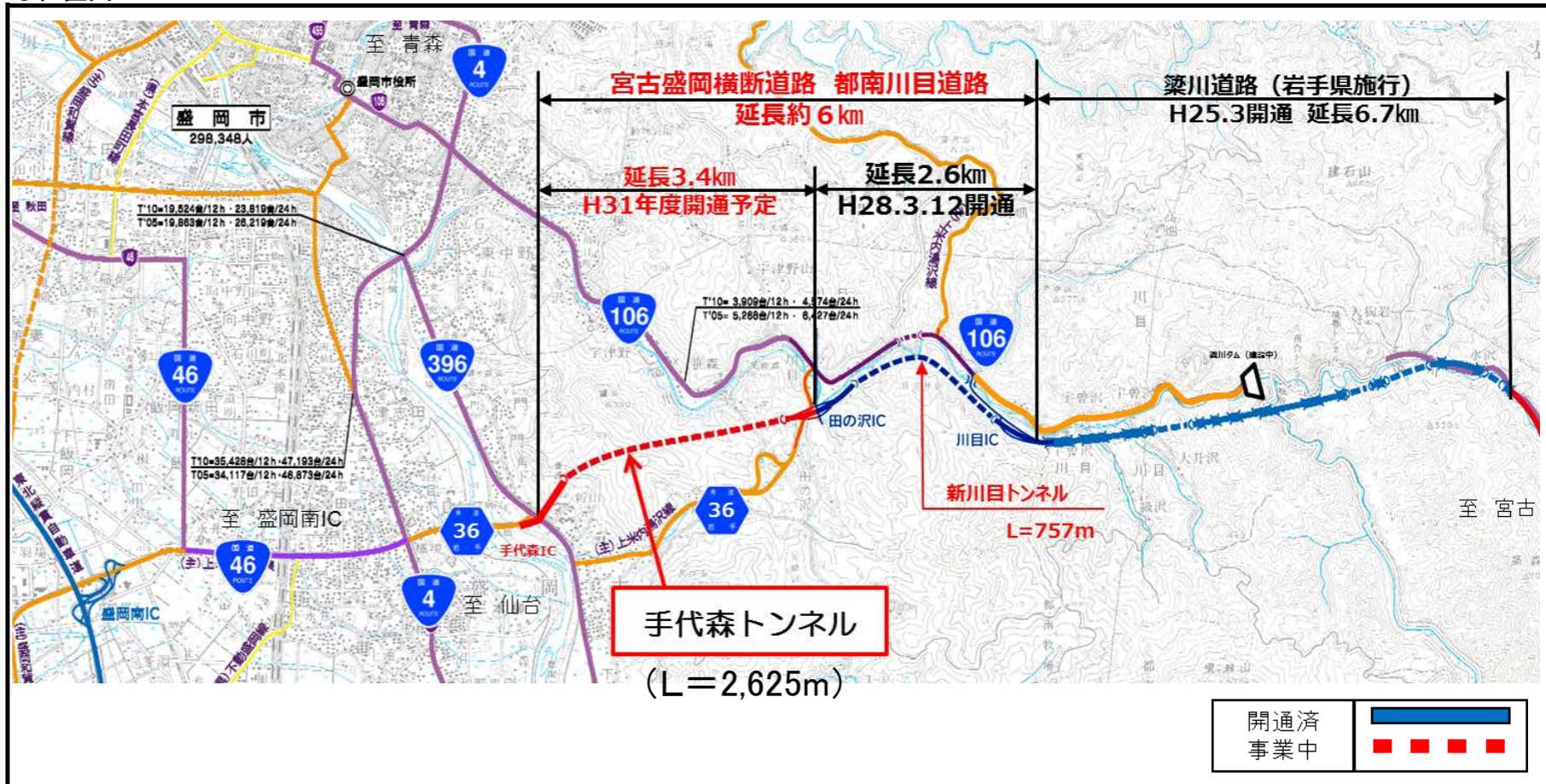
* 施工数量は平成29年7月7日(金) 7時現在

○工事の特徴

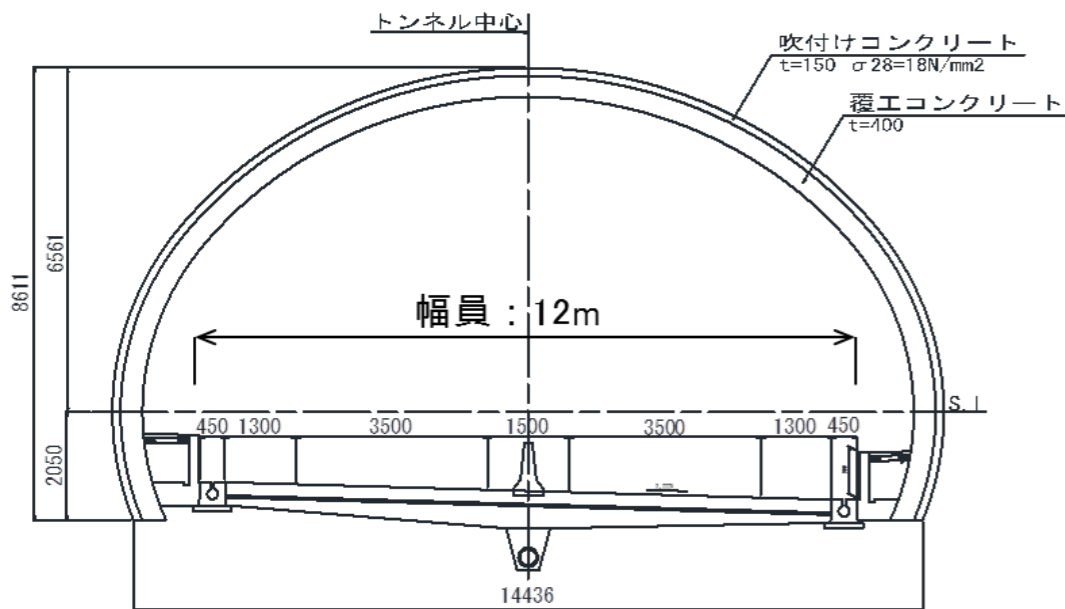
手代森トンネルは、宮古盛岡横断道路(約100km)の一部をなす都南川目道路の西端に位置しており、国道106号の線形不良区間解消や災害時の緊急輸送道路の確保、救急活動の支援を図るとともに、広域的な交流・連携の促進が目的の自動車専用道路である。また、復興支援道路として位置付けられ、早期整備が急務とされている。

地形は、標高110～350m付近の丘陵から山地となっており、北部に鑪山(標高390)があり、さらにその北部を梁川が西流する。宮古側坑口付近は主要地方道上米内湯沢線、盛岡側坑口付近は国道396号と接しており、盛岡市街地である。地質は、複雑な構造を呈する早池峰構造体の北端付近であり、宮古側坑口より古生代「川目層(根田茂帯)」の粘板岩・チャート混在岩、凝灰岩、チャート、緑色岩、蛇紋岩、花崗岩、ホルンフェルス(砂質・泥質)等で構成される。岩質は比較的硬質であるものの、顕著な断層破砕帯が数箇所確認されている。

○位置図



標準断面図



盛岡側坑口部



宮古側坑口部



宮古盛岡横断道路は物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援

◆宮古盛岡横断道路の整備による時間短縮(宮古～盛岡間で約30分短縮)、隘路解消により、海産物の鮮度保持や製造品の品質確保が図られ、地域産業の活性化を支援。



宮古市のサケ漁獲量は**本州1位**※

※農林水産省 海面漁業生産統計調査 (H27)



岩手県のコネクタ出荷額は**全国7位**※

※経済産業省 工業統計 (H26)

宮古盛岡横断道路は救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

◆救急搬送では宮古地域からの管外搬送のうち約7割が盛岡市の医療施設へ搬送。宮古盛岡横断道路の整備により救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保。

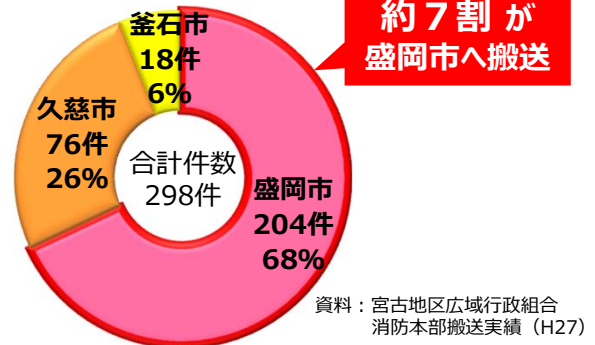
▼宮古地区の管外搬送先内訳

道路整備による所要時間の短縮効果

宮古市役所～岩手医大附属病院



・時間短縮はH22道路交通センサスを基に算出(将来は道路構造に応じた速度で算出)
 ※岩手医科大学附属病院はH31移転予定地として算出



資料：宮古地区広域行政組合 消防本部搬送実績 (H27)

宮古盛岡横断道路は周遊観光圏域を拡大し観光振興に寄与

◆豊富な観光資源を有する地域間のアクセス性向上により、周遊観光圏域が拡大し、観光振興に寄与。

内陸部

▼時間圏域の変化

沿岸部

道路整備による所要時間の短縮効果
 盛岡南IC～宮古市役所

盛岡市	開通前	113分	宮古市
		約30分短縮	
	開通後	82分	

時間短縮はH22道路交通センサスを基に算出(将来は道路構造に応じた速度で算出)

宮古盛岡横断道路の整備により、盛岡地域と宮古地域は

現在の
90分
エリア

開通後
90分
エリア

概ね90分でアクセス 【算出条件】旅行速度：H22道路交通センサス